

茅ヶ崎たいあっぷ通信



夏!

夏休みのはずですが・・・



コロナ禍、収まる気配を見せませんね。

旅行やイベントなどなど日頃の憂さを払いたいところですが心置きなく！というわけにもいかないようで。

自分の身を守り、家族の身を守りつつささやかなりフレッシュができますようそれぞれの夏を楽しんでいただければいいなあと思います。

地震

春先から世の中がざわざわしており、なんとなく後回しになっておりますが、地震は常に起こっていることをご存じでしょうか？

大きな地震が起こった時は何かと気をつけたりしますが、あまり地震が起きない日々が続くと、ついつい忘れてしまいそうになりますね。

我が国は地震大国です。いつ大地震が起こってもおかしくない状況にあります。

地震に備える！これはとても難しい。

避難用防災グッズの準備、避難所の確認、ヘルメットの準備・・・??? あら？準備万端！と思うものは、比較的避難する時や避難後の装備が多いのです。

つまり、地震が起こった時に逃げられる前提なのです。

起震車の体験はありますか？

私が乗車した時は、揺れるとわかっているにもかかわらず立ち上がることや動くことはできませんでした。大きな揺れが起こっている最中に避難することは非常に難しいのです。

揺れが収まって、初めて「避難しなければ！」となるわけですが、過去の大地震では最初の大きな揺れで倒壊してしまう住宅が多くありました。

右上の写真の状態になった時、命が助かったとしても自力で脱出することは困難です。

最初の揺れによる倒壊を免れ避難する、この時間を確保することは非常に重要です。

初期倒壊せず、家具が倒れ避難経路を塞ぐことがなければ、避難することができます。

近年の様々な災害では確かに「想定外」の規模の被害があります。地震も例外ではなく準備を上回る被害を受けることはありますが、現在想定している大地震まではこの逃げる時間を確保するというのも「備える」という防災対策の一つとしてぜひご検討いただきたいです。

まずはご自宅の状態を知ること、耐震診断はいかがでしょうか？



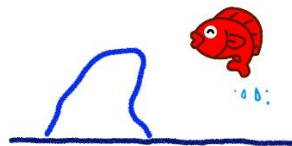
コロナめ

今年度は我が担当のイベントが軒並み中止となりました。
これまで、毎年行ってきた周知、啓発活動が思うようにできずにおります。
「地震対策について不安だなあ」とか「なにか補助金とかないかな」など耐震に関するご質問などありましたら、建築指導課 建築安全担当までお問い合わせください。



たいあっぷ

茅ヶ崎たいあっぷ95推進協議会の活動状況もご報告していきます。
協議会への参加をご希望の方は事務局までお申し出ください。



編集後記

長く涼しい梅雨が明けたと思ったら、殺人的な暑さの毎日ですね。
本来は「茅ヶ崎たいあっぷ95推進協議会」の活動報告を主としてお知らせするこの「たいあっぷ通信」ですが、今年度は活動がほぼ出来ずにおります。
そんなこんなで、今年度の通信は建築安全担当の「思い」を通信する状態です。
日々窓口で市民の方とお話ししていると、様々な「思い」に触れる機会があります。
それぞれの方法は違うけれど大事な家について、どなたにも思いがあり、大切にしておられます。
長く住まれた家にはその分思い出も思い入れもたくさん詰まっている。
新しく新品にするより、これまでのご家族の方々の生活の雰囲気を残しておきたいと思われる方も多くいらっしゃいます。
安全に住まうこと、日々の暮らしを保つこと、優先すべきことは本当に人それぞれだなあと思うことばかりです。今年はこの日々思う事をつらつらと細々と書き連ねていこうと思います。

(平)

茅ヶ崎たいあっぷ95推進協議会 事務局

〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 茅ヶ崎市 都市部 建築指導課 建築安全担当
電話 0467 (82) 1111 内線 2328 FAX 0467 (57) 8377
E-mail kenshidou@city.chigasaki.kanagawa.jp